



左：権現舞 右：田楽舞



小豆沢自治会は、鹿角の南側に位置し、豊富な水源と肥沃な土壌に恵まれた自然豊かな自治会です。



小豆沢自治会 会長
畠山 巖さん
Hatakeyama Iwao



毎年1月2日には、周囲の3集落と共に、自治会内にある大日霊神社におおひるめむしんじや大日堂舞樂を奉納しています。大日堂舞樂の7つの舞のうち、小豆沢では「権現舞」と「田楽舞」の2つの舞を奉納しています。近年、少子高齢化が進んでおり、大日堂舞樂などの行事に参加する高校生から40代までが年々減少してきています。

多くの方々に自治会行事に参加してもらうため、人が集まりやすい場所にしたと考え、自治会館の改修を計画し、数年前から資金を集めています。このように、今後を見通して物事を話し合い、予定を立てて実行しながら、さまざまな事業に取り組んでいます。

今後でも人口減少により、行事を行っていくことが難しくなると思いますが、先を見通して物事を考えることで、自治会をより良く継続させていきます。

産業活力課 観光交流班 ☎ 30-0248

八幡平には12ものトレッキングコースがあり、年間を通して多くの登山客が訪れています。八幡平のトレッキングコースの起源は、明治・大正時代に温泉や鉱山に行くための道路として作られたのが始まりと言われています。現在は遊歩道が整備されたコースもあり、初心者でも短時間で気軽に散策できます。

八幡平の名が全国に知られるようになったのは、「楚人冠落馬事故」が雑誌「アサヒグラフ」に掲載されたことがきっかけでした。昭和9年に鹿角出身の実業家・関直右衛門らがアサヒグラフの創刊者・杉村楚人冠を八幡平登山に招いた際、楚人冠が落馬事故に遭い、湯瀬で静養したことがアサヒグラフに掲載されました。事故の翌年、関らは落馬した地である八幡平トコロに「楚人冠落馬記念碑」を建て、現在も

八幡平切留平付近に記念碑が残されています。

八幡平は、全国でも有数の高山植物の宝庫で、春の雪解けから夏にかけて数多くの高山植物が咲き乱れます。春にはミズバショウ、初夏にはワタスゲ、晩夏にはタチギボウシなど、その数は500種類以上とも言われています。

国道341号沿いにある大場谷地湿原では、広い湿原を埋め尽くす花々の群生を見ることができ、撮影スポットとしても人気が高い場所です。青々とした山並みと色鮮やかな高山植物のコントラストは必見ですので、高山植物を楽しみながらトレッキングに挑戦してみたいいかがでしょうか。

初心者でも安心なトレッキングコース

- ① 八幡平山頂周辺（2〜3時間）
- ② 大沼自然研究路（40分）
- ③ 後生掛自然研究路（1時間）

八幡平トレッキングの魅力

ステキな鹿角をみんなでPRしよう
目指せ！鹿角ガイド

地域の良さを再認識することで、地域を誇り、自ら発信できるきっかけになるよう、鹿角の魅力を毎月お届けします。今回は、国立公園八幡平エリアのトレッキングについて紹介します。



志賀 貴光 弁護士
Takamitsu Shiga

17歳の頃

僕が17歳の頃、大好きな人にフラれてご飯が食べられなくなったことがありました。弁当と一緒に食べる友だちに「おなかの調子が…」と言ってごまかせるのは2日目くらいまで。3日目のお昼は、友だちに怪しまれないように図書室に行きました。そこで、薄くて黄色い古い本が目に残ったので開いてみると、「事実を事実として認めることそれが一番大事なことです。」と1ページ目に書いてありました。今思うと、傷に塩を塗るような言葉ですが、当時の僕は、「あ。そっか。フラれたのは事実だから、悩んでも変わらないよな。」と不思議と気が楽になりました。そのあとも一人になると泣いてばかりいましたが、ご飯もいくらか食べられるようになり、前を向いて、少しずつ受験勉強をスタートしました。法律相談に来た初対面の方に、「事実とは○○ですから変えられない

ですよ！」とはもちろん言えませんが、例えばお金を借りたという事実のあとには利息と支払いが（例外あり）、親の死亡という事実のあとには相続がそれぞれ待ち構えています。

「固定資産税の請求が突然来た！」という相談が、鹿角に来てから一番多いのですが、これは、不動産を所有する親族の死亡という事実を無視した結果です。遺産分割協議をして登記をするか、死亡を知ってから3カ月以内に相続放棄をすれば防げるので、相続を無視しないでください。

嫌な事実と向き合うには勇気がいるますが、向き合うのが早いほど解決の可能性も高まりますので、気軽にご相談ください。

最後に。17歳の僕がフラれた事実と向き合えたのは、彼女が丁寧なお手紙で、でも、ハッキリとお断りしてくれたからです。悲しい事実を相手に伝えるときのお手本のような彼女の振る舞いに、今ではとても感謝しています。

魅力ある地元企業を紹介 グッジョブ鹿角

株式会社茅茹荘

会社概要

昭和36年に料亭としてこの地に開業しました。宴会や宿泊、お祝い・法要の会食を行っているほか、最近はテイクアウトも行っています。また、どなたでもご利用いただきやすいよう、エレベーターの設置や宴会場を椅子席可能にするなど、お客さまに優しい施設づくりを進め、令和2年秋田県バリアフリー推進賞を受賞しました。幅広いお客さまに安心してご利用いただけるよう社員一同取り組んでいます。

若手社員の会社自慢



客室担当
阿部 美季葉さん
清掃の徹底や除菌など基本を大切に、お客さまが気持ちよく過ごしてもらえるよう心がけています。



所在地 8花輪字下中島 112
設立 8昭和36年
代表取締役 8柳館 清典
ホームページ
<https://boujosou.co/jp>



代表から

弊社の名前は、荒れ地でもその根を八方に伸ばして繁茂する「茅」、女性性の厳しい「口」（味覚）にも評価される美味しい料理を提供する、という決意を込めた「茹」から名付けられました。

昨年、社員がスキルアップのため、「日本の宿おもてなし検定」を受検し、より上質なおもてなしの提供を目指しています。



代表取締役
柳館 清典さん